

中学生の「税についての作文」

大川税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金と私たち

大川市立大川桐英中学校

一年 植 木 水 蘭

みなさんは、私たちの生活に税金がどれだけ関わっているか知っていますか。実は私たちの生活に税金は欠かせないものであり、私たちの生活に大きく関わっているのです。税金といえば大人が払うべきものというイメージがあるかもしれませんが。しかし、私たち中学生の生活にも深く関わっているのです。例えば小学校や中学校で使う教科書や、みんなが楽しく遊ぶ公園、たくさんの方が読書をする図書館などをはじめ、他にも税金のおかげで成り立っている施設がたくさんあります。昔の私は「税金なんて払わなくていいんじゃない?」と思っていました。しかし、六年生の時に税金の授業を受けたことがきっかけに、考えが少し変わりました。今の私の考えは、税金を払うのは苦しいと感じる人もいますが、払うべきものだと思います。なぜなら、税金は公の場を整備し、快適に教育を受けられるようにしたり、街の環境を整えたりするために使われています。また、ゴミ収集車で町や家のゴミを処理したり、自動車や、人が通りにくい道をきれいに

に直したりすることにも使われています。国民が少しでも生活しやすくなるために税金は使われているのです。

一方、税金が無い世の中について考えてみました。少しの間は、税金を払わなくて良くなるので嬉しいと感じる人がいるかと思います。しかし、税金が無くなると、道が壊れていても直せず、町を清潔にしてくれていたゴミ収集車も動かなくなり、町は一気にゴミであふれかえり汚くなってしまいます。今まで救急車や消防車は、お金を払わずに助けに来てくれていましたが、税金がなかったら救助してくれるのもお金が掛かってしまうのです。大川市の小中学生の給食も、二期から無償化になりますが、これも出来なくなるのです。つまり、救助を求めるのも図書館を利用するのも給食を食べるのも何もかもがお金が掛かってしまう生活になります。だから、裕福な人しか普通の生活が出来なくなってしまうのです。

しかし最近では、SNSやテレビのインタビューなどで税金を払い過ぎているという声を聴くことが多くなってきたと感じています。また、選挙の立候補者からも消費税の引き下げを行うことを公約に挙げている人が多いと感じます。それほど現在税金について世の中で、問題となっていることが分かりました。

このように、税金が無かったら当たり前のように過ごしてきた生活を送ることが出来なくなってしまうのです。私はこれから税金に感謝して過ごしていきたいと思いました。